

本部港中長期計画(仮称)検討委員会

第 1 回委員会資料

基本理念（案）等

- 1 本部港中長期計画(仮称) 基本理念（案）
- 2 本部港中長期計画(仮称) 将来像（案）
- 3 本部港中長期計画(仮称) 基本方向（案）
- 4 本部港中長期計画(仮称) 空間利用（現状）

令和 6 年 6 月 3 日
沖縄県土木建築部港湾課



1 本部港中長期計画(仮称) 基本理念(案)

社会経済情勢等の変化

- SDGs(持続可能な開発目標)
- 自然災害の激甚化
- ウィズ/アフターコロナ、ニューノーマル
- 既存施設の老朽化対策
- 脱炭素社会への貢献 等

上位・関連計画

- PORT 2030
- 新・沖縄21世紀ビジョン基本計画
- アジア経済戦略構想
- 各市町村の総合計画
- 沖縄県・各市町村の観光振興計画 等

北部地域・本部港の現状と課題

<北部地域の現状と課題>

- 人口減少・少子高齢化
- 1次産業の減少
- 入域観光客の増加、高付加価値化
- 海運関係労働者の減少・高齢化

<本部港(物流・産業)の現状と課題>

- 県外向け貨物の拡大
- 貨物の利用形態に応じた埠頭機能の分担
- 新たな施設整備等による利便性の向上
- 観光関連施設の整備による地域の活性化

<本部港(交流・賑わい)の現状と課題>

- クルーズ船の受入環境の強化
- 人流機能再編による利便性の向上
- 小型船の利用形態に応じた施設整備

<本部港(安全・安心)の現状と課題>

- 港内の静穏性の確保
- 利用ニーズに応じた港湾整備
- 北部地域における防災拠点としての機能拡充

<本部港(持続可能な地域)の現状と課題>

- 貴重な自然環境、開発・利用との共生

北部地域・本部港を取り巻く社会経済情勢の変化、関係する上位計画、現状と課題を踏まえた本部港長期ビジョンの基本理念を設定。

本部港中長期計画(仮称)の基本理念(案)

魅力ある北部圏域の中心となる本部港

2 本部港中長期計画(仮称) 将来像(案)

【将来像①】北部地域の経済振興を支える港湾

- 港湾機能の再編・効率化により北部地域の物流・産業の拠点機能を強化する

【将来像②】多くの人が賑わう活力のある港湾

- 世界に開かれた交流拠点空間を形成する
- 背後地域との連携・ネットワーク化により賑わいと活力を創出する

本部港の基本理念 魅力ある北部圏域の中心となる本部港

【将来像③】安全で安心して利用できる港湾

- 強靱な港づくりにより災害時の安全・安心の期待に応える

【将来像④】環境と共生を図り持続可能な港湾

- 経済活動と豊かな自然が共生し持続可能な都市の形成に貢献する

3 本部港中長期計画(仮称) 基本方向(案)

区分	基本方向(案)	本部地区		渡久地地区		瀬底地区	浜崎地区
		旧本港	旧塩川	旧本港	日エキスポ、旧垣内		
【物流・産業】	県外航路の利用拡充	○					
	埠頭再編	○	○				
	地域経済を支える港湾	○		○			
【観光・交流】	クルーズ船受入環境・体制の強化	○					
	フェリー、旅客船機能の拡充	○		○			
	船だまりの機能充実			○	○	○	
【安全・安心】	船だまりの機能充実		○	○	○	○	
	北部地域における防災拠点の形成	○			○		
	港湾利用者が使いやすいみなとの整備	○		○			
【環境・共生】	自然環境の保全	○	○	○	○	○	○

4 本部港中長期計画(仮称) 空間利用(現状)

